



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

## …つばやきサロン…

～「きづき」から「きすな」へ～

「知る・理解する・気づく・行動する」をキーワードに活動してきた。「ノーマライゼーションの社会の実現」と捉えてもいる。なぜなら、北部九州は古代より大陸との交流に支えられてきた地域であり、グローバル化が加速する現代においては一層、「知ること」で、出身の国や民族の違いからの無意味な不安が減るかも？また、世代間の断絶の解消は大人たちの口をついて出る「いまどきの若い者は・・・」というセリフや、「どうせわかってくれない」という若者世代からの諦めの声も、交流があれば出なくなるかも？といった、いわば「人への食わず嫌い」を無くしていきたいという思いから始まった。

大人と若者の混成メンバーが学外サークルのようなスタイルで、個々人の興味を全体のテーマやイベントに選び、団体が加入している「持続可能な開発の教育（北九州ESD協議会）」からの情報に触発されることも多い。福祉も教育も自然保護も異文化理解も食糧問題も保健も宗教もジェンダーもそして戦争と平和、それらすべてが持続可能な未来のために取り組みたいテーマと考えるようになった。

大学生や留学生の出会いと旅立ちを身近にしながら、若者ばかりか大人の成長というおまけまでついて次々にテーマを広げてくれた。そして、この2月に活動当初からの念願だった「地球のステージ」というライブ形式の公演を実現できたのも、出演者の桑山紀彦さん（イスラエルのガザ侵攻の空爆のさなかに現地で医療支援活動をしてこられたNGOの医師）をはじめ、(独)JICA九州、新聞各社や放送局、研修や活動で出会えた方々、この公演をきっかけに出会えた方々の応援のおかげである。一人の活動は掛け算になり可能性は広がるばかりだと知った。何といても、北九州には志ある市民、自立した市民が多い。絆を実感した春である。



地球交遊クラブ 代表 服部 祐充子さん

# 第89回・サポートセンターの日/2009・3・25

## NPO活動発表会 ～地域に根ざした小規模事業所を目指して～



NPO法人 北九州小規模連  
事務局長 桑園 英俊さん

北九州小規模作業所連絡協議会（以下、小規模連）は「作業所の明日を開く全国大集会」と連動して平成16年4月に設立されました。必要な施策の実現を目指し、情報交換のシステム作りや事業を共同で行うために、個々の独自性を尊重した集合体として立ち上げました。当初の参加事業所は34団体でした。

共同作業所は、特別支援学校卒業後の日中活動の場としてだけでなく、家族・支援者・当事者自ら生み出した場や、当事者のニーズに合わせた活動の場として存在しています。

現在、小規模連の参加団体は37団体あり、内訳は個別給付事業所17ヶ所、地域活動支援センター4ヶ所、共同作業所14ヶ所、小規模通所授産施設2ヶ所となっています。地域別でみると、門司区3ヶ所、小倉北区10ヶ所、小倉南区4ヶ所、戸畑区5ヶ所、八幡東区4ヶ所、八幡西区6ヶ所、若松区5ヶ所という状況です。

平成20年11月に北九州市の補助事業として障がい者の店「一丁目の元気」がオープンしました。市内の障がい者が作る商品のアンテナ販売ショップで私達の活動の貴重な情報発信の基点になっています。

店内には障がい者が作る商品だけでなく、健常者の方が作った商品も置いてあります。また町なかの「赤ちゃんの駅」として授乳やおむつ替えのスペースも設け、子育て中の小さいお子様をお連れの方々に喜ばれています。

現在は市の補助金もあり、運営は安定していますが、いつまでも補助が受けられるわけではありません。今後はこの「一丁目の元気」の運営力を身に付けていく事が課題だと思っています。



北九州義農の会  
代表 宮川 幸夫さん

平成3年にすべての高齢者と障がい者を対象に、外出を支援する「北九州義農の会」を一人で発足させました。

「外出したくても一人ではできない。」「どこにも頼れるところがない。」「行政も目が届かない。」そんな福祉政策のすき間をカバーできればいいという気持ちで活動してきました。最初の活動はリフト付ワゴン車を購入して高齢者や障がい者の移送サービスを行うことでした。

その後、ニーズの多様化が進み、車椅子のまま外出が簡単になると、旅行に行ってみたくなったり、さらに、旅行に行くならお洒落もという事を出張理美容サービスを開始しました。また、企業内作業所である小規模作業所「ドリーム2」を開設し、生産する喜びと癒しを求めるために福祉農園「義農の里」を開村しました。

平成12年度にはこれらの活動が認められ、日本顕彰協会より日本財団賞（多年にわたる功労部門）を受賞することができました。

自分が暮らす八幡東区丸山・大谷地区は“坂の町”です。最初は、高齢者の方の、坂を2、3歩進んでは休み、また進むというそんな姿を手助けしたいという思いから始まりました。また、ちょっとした坂や石段のために外出を控え、家に閉じこもりがちなお年寄りや障がい者がたくさんいることを目にしました。外出を支援することで、社会参加につながると思っています。今後もこの思いを胸に、高齢者や障がい者の方々のニーズに合った活動を展開していきたいと思っています。



## イベント情報

### ◆第2回 認知症・北九州大会

「つながれ！！市民・介護・医療！」をテーマに認知症になっても「つながる大切さ」を考えます。

○日時：5月9日（土）14：00～17：00

○会場：ウェルとばた大ホール

○内容：基調講演「かかりつけ医からの発信」  
報告 「それぞれの現場から」

○申込締切：FAXか往復はがきで4月30日（木）

○申込先：〒802-0833

小倉南区上石田2-21-23

FAX093-963-3075（田代方）

○認知症・草の根ネットワーク事務局 田代久美枝

○参加費：500円（資料代）

○主催：認知症・草の根ネットワーク

○お問合せ：

北九州市保健福祉局高齢者支援課「認知症大会」係  
TEL093-582-2407

### ◆平成21年度まちづくりセミナー

～キャンパスからのメッセージ～

北九州市内の学生は、学内だけでなく“地域”をキャンパスにしてみなび活動しています。そんな彼らの熱い想いに触れてみませんか？！

○日時：5月30日（土）～6月27日（土）

10：00～12：00（全5回）

○会場：ウェルとばた12階JK研修室

○受講料：700円（資料代として）

○定員：30名（応募者多数の場合は抽選）

○申込期間：

4月21日（火）～5月8日（金）（必着）

○主催・申込先：

北九州市社会福祉ボランティア大学校

TEL093-881-6321

FAX093-881-6306



## 助成金情報

### ★NPO公益活動支援事業（愛称：きらきら）

NPO法人などの市民活動団体が行う専門性を発揮した取り組みや先進的な事業に対して、事業費の一部を助成します。

☆北九州市内に主たる活動拠点を有するNPO法人、一定の条件を満たす市民活動団体が対象。

☆助成額：1団体あたり上限50万円

（助成対象経費の50%以内）

☆募集期間：4月15日（水）～5月8日（金）

☆提出先及びお問合せ先：

北九州市総務市民局地域振興課市民活動支援係  
TEL582-2111

### ★「NHK厚生文化事業 わかば基金」

地域で活発に福祉活動をすすめているグループに支援金またはリサイクルパソコンを贈呈します。

☆支援金：1グループ70万円まで（10団体程度）

☆リサイクルパソコン：50台予定

☆応募締切：5月22日（金）必着

☆お問合せ・応募先：〒150-0041

東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「わかば基金」係

TEL03-3476-5955

※申込用紙は下記HPよりダウンロードできます。

<http://www.npwo.or.jp/>

## 知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

今月より、新コーナーとして登場しました。

第1回目は、任意団体をNPO法人化することで起こるメリット・デメリットについてです。

主なものとして次のような事項が挙げられます。

### 法人化のメリット

\* 団体としての契約の主体になれる

\* 団体名で銀行口座が開設できる

\* 事務所を借りる場合に団体名で契約ができる

\* 県のHP等で団体の事業内容が公開されることにより社会的な信頼が高まる など

法人化を考えている皆さん、メリット・デメリットをしっかり押さえながら検討しましょう。

### 法人化のデメリット

\* 認証・登記・各種届出など事務処理が煩雑になる

\* 常にNPO法に基づいた活動が求められる

\* 法人を解散する時に残余財産の分配が禁止されているので、会費や寄付を返すことができない など





# NPO法人の申請・認証状況

## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年3月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	263	240	—

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年2月28日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	35,191	33,851	418
【福岡県】	1,260	1,232	1
内閣府	3,193	2,975	120
全国計	38,384	36,826	538

## 2009年3月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人フリースクール茶屋町総合学習センター (3月2日認証)
- 特定非営利活動法人ぎやらりいゆう (3月3日認証)
- NPO法人グレインプラス (3月10日認証)
- 特定非営利活動法人北実会 (3月12日認証)
- 特定非営利活動法人まちのカルシウム工房 (3月19日認証)
- 特定非営利活動法人北九州交流分析協会 (3月30日認証)

## はじめまして・・・新しいスタッフです！！



佐々木 直子 (専門相談員)

趣味：映画鑑賞

障害者福祉ボランティア、男女共同参画推進員として活動をしたこと、市民センターで働いて経験したことを通して、お応えできればと思っています。一緒に考えることから始めませんか？



坪根 真澄 (スタッフ)

趣味：映画鑑賞

九州の温泉巡り

また、こちらで働かせてもらうことになりました。親切・丁寧をモットーに明るく、笑顔で皆さんの来館をお待ちしています。



杉山 美奈子 (スタッフ)

趣味：美味しいものを食べること  
ドライブ

NPOに係る皆さんへの迅速な情報提供を目ざしてがんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。皆さんの来館をお待ちしています！！



## 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4  
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。  
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》  
日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】4月30日(木) 5月14日(木) 28日(木)

## 編集後記

様々な方が、様々な目的で当センターを訪れます。

ムーブの1階という場所柄、道案内や館内のイベント案内、ときには荷物の預かり依頼も。

また、市民活動サポートセンターという名前故か、ボランティア・NPO支援という本来の業務とは少し異なる相談を受けることも少なくありません。

対応できることに限りはありますが、できるだけ適切な情報を提供し、利用者の方々に満足していただけるよう心がけて、本年度もがんばりたいと思います。

by

